

# 平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

## 1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市美旗市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターの利用の許可に関すること</li> <li>・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関すること</li> <li>・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関すること</li> <li>・その他名張市が別に定める業務</li> </ul>

## 2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

### 管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	地域の課題や市民のニーズに合わせ、講座を実施し、出前講座等も利用しながらセンター職員の幅広いネットワークにより運営されている。朝学モーニングでは地元の方を講師に招くなど地域からの生涯学習がなされている。
地域づくりの拠点(住民の居場所として住民の活動の拠点)としての役割	生活支援事業はたっこサポートや配食サービス、子どもの一時的預かり事業など住民福祉サービスの拠点としての役割を果たしている。また、各サークル持ち回りでの館内清掃の実施や、隣接する特別支援学校と連携して生徒の協力を得るなどし、館内美化に努めている。

割を果たしているか	その他、美旗古墳群、観阿弥創座の地などの地域資源に関するギャラリーを常設展示し、地域内外の人が立ち寄り易い場所を提供している。
-----------	---

### 3 施設設置者（名張市）の総合評価

生活支援事業はたっこサポートや配食サービスのほか、地域づくりの拠点、生涯学習の場、住民憩いの場としての役割を果たし、多くの事業を職員やボランティアが支えている。また、古墳や能などの地域資源を生かした常設展示室やロビーでの写真展示、子ども一時預かり事業の場所提供等、市民センターを有効に活用している。更に、歴史講座を始めとする市民大学講座は、地域外からの受講者も多く、質・量ともに充実している。

当地域は、既存の農村集落と住宅団地が混在していることや、伊賀市と隣接していることを生かし、コミュニティバスを伊賀市に乗り入れるなどの取組を行っているが、今後さらに地域の特色を生かした地域内外の住民との交流を行うことにより、活動の活性化や利用の増加が見込まれる。